

名張市防災センターに展示されている地震被害イメージ



情報入手方法を再確認!

■ 広報車・サイレン

避難勧告などの発令時、該当する区域内を広報車が巡回してお伝えします。また、小学校などに設置したサイレンが「約1分間鳴る⇒5秒休止」を繰り返します。ただし、避難勧告などの発令がなくても、危険だと感じた場合は、自らの判断で避難してください。

■ FMなばり (83.5 MHz)

市は、災害時に「FMなばり」で避難勧告発令などの情報を提供します。
★毎週月曜日 午後零時15分から防災情報を発信中
※災害時の緊急割り込み放送のテストを兼ねています。

■ 防災ほっとメール

①緊急メールを配信

市が災害対策本部を設置した際、避難や災害情報を携帯電話に電子メールでお知らせします。

1,700人以上が
すでに登録済!

②災害情報などを掲載

避難場所の開設、被害状況などの情報をご覧いただけます。避難場所を検索することもできます。

③救急医療情報を掲載

二次救急実施病院などの情報をご覧いただけます。

登録方法 <http://www.anshin-bousai.net/nabari/>に接続するか、右のQRコードを読み込んでください(登録無料)。



▼ 地震が起きたら何をすべきか?



テレビやラジオなどで緊急地震速報が発表されてから、強い揺れが到達するまでの時間は数秒から数十秒。速報を聞いたり、地震を感じたりしたら、周りの人に声を掛けながら、落ちていて机の下に隠れるなど、まずは、自分の身を守りましょう。地震による強い揺れは長くても1分程度です。その間は身を守り続けましょう。



揺れがおさまった後も、自分の身を守ることが大切です。ガラスなどが飛び散っていることがありますので、スリッパや靴を履きましょう。そして、火元を確認。コンロの火を消し、ガスの元栓を閉めます。出火していれば初期消火しましょう。次に、家族の安否を確認し、ドアや窓を開けて、逃げ道を確認しましょう。



地震の規模が大きいと情報は錯綜します。FMなばりなどで、正確な情報を得るようにしましょう。避難する場合は、看板や瓦などが落ちてくることもあるので、落ちていて行動しましょう。また、停電復旧の際に火災が起きることが多いので、電気のブレーカーは落としておきましょう。

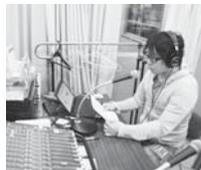
被災地しおがまからの証言 ② >>

情報が錯綜する中、正確な情報発信を心がけました

コミュニティFMバイウエーブ 横田 善光さん

地震と津波により、塩竈市内は停電。テレビは見られない、携帯電話も充電できないという状況でした。当FM局も津波で放送できなくなりましたが、2日後には地元ケーブルテレビ局や市の協力を得て、仮設アンテナを設置。塩竈市役所内でFM放送を再開し、避難所や給水所の情報、安否情報などを発信することができました。

情報が錯綜する中、正確な情報提供を心がけ、市民の皆さんからもとても助かったと喜ばれましたね。また、市にガソリンが届くが、保管するドラム缶がない、とFMで呼びかけると、ラジオを聞いていた人が市にドラム缶を提供するなど、災害時における身近なFM局の必要性を実感しました。



被災地しおがまからの証言 ① >>

非常持出袋を多くの人が用意していれば...

塩竈市婦人防火クラブ連合会 会長 小林 真佐子さん

東日本大震災では、塩竈市の避難者数は想定3倍となる約9,000人になりました。市が備蓄していた食糧は被災1日目にして底をつきました。

婦人防火クラブでは、皆さんに非常持出袋を用意してもらえよう、日ごろからFM放送での啓発や、地域の防災説明会で実際に中身を見てもらおうといった活動を続けてきました。

しかし、避難所に非常持出袋を持ってきていた人は、ほんのわずかで、実際に困っている人がたくさんいました。「FMを聞いて、非常持出袋を用意していたよかった」と声を掛けられたときはうれしかったのですが、もっとたくさんの方が用意していればと思うと残念です。非常持出袋を全ての人に用意してもらえようこれからも訴えていきます。



名張市が、5月から9月まで、避難所運営や、被害家屋調査、道路復旧などの支援を行った宮城県塩竈市。今号では、地震や津波により、死者47人という甚大な被害を受けた塩竈市の被災者からの声を紹介します。

【補足】 避難勧告などの発令時に鳴るサイレンの設置場所…名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、長瀬公民館、消防本部、桔梗が丘分署、つつじが丘出張所